

月次レポート

第12号
2009年11月11日作成

ユニオンファンド

追加型株式投資信託／ファンド オブ ファンズ
(分配金再投資専用)

～ マークのなかに託した私たちの想い ～

4世代(おじいちゃん・おばあちゃん、熟年世代、勤労世代、お子さんやお孫さん)をあしらいました。
ハンドinハンドで親近感や繋がり・絆を深め、
幸せの輪をひろげようという想いを込めています。



Union Asset Management Inc.
ユニオン投信株式会社

「ユニオンファンド」の「月次レポート」(2009年11月11日作成)をお届けします。

運用状況のご報告

ユニオンファンド概況

※今月号から「ユニオンファンド概況」のレイアウトを若干変えております。



ファンドマネージャー コメント

投資環境と見通し

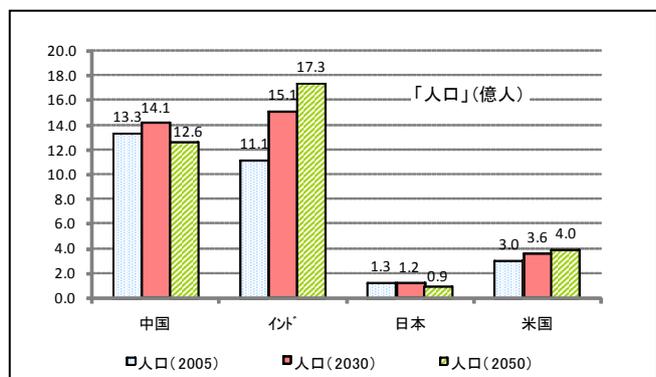
今回の経済危機を契機に世界経済の牽引役は先進国から新興国に代わろうとしています。そこで、中心的役割を果たすことになる中国とインドについて日本・米国と比較してみました。

中印共通点：1 人口大国

- 中国：一人っ子政策の影響で今後人口増加ペース鈍化。2030年頃が人口ピーク。その後は減少へ。
- インド：毎年約2000万人増加。2025年頃、中国に並ぶ。その後は世界一に。現在の年齢中心値は約25歳。
- 日本：人口減少が続く。
- 米国：緩やかな人口増加が続く。

組入れファンドの内訳(組入比率は10/30付け)

ファンド名	主な地域	組入比率	目標組入比率	目標比
さわかみF	日本	約16%	18%	約-2%
キャピタルF	欧米	約24%	25%	約-1%
ハリスF	欧米	約16%	17%	約-1%
コムジェストF	イマジング	約37%	40%	約-3%
キャッシュ	—	約8%	—	約8%

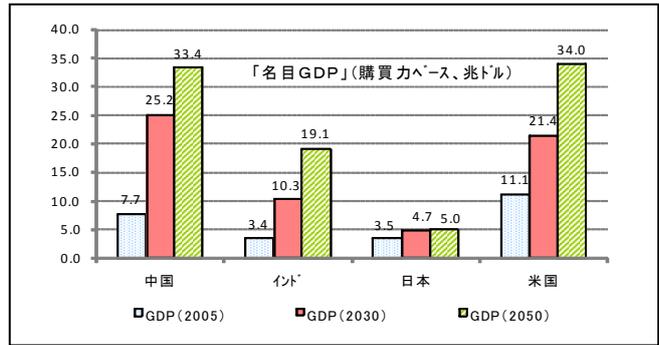


(出所：日本経済研究センター)

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

中印共通点：2 高成長

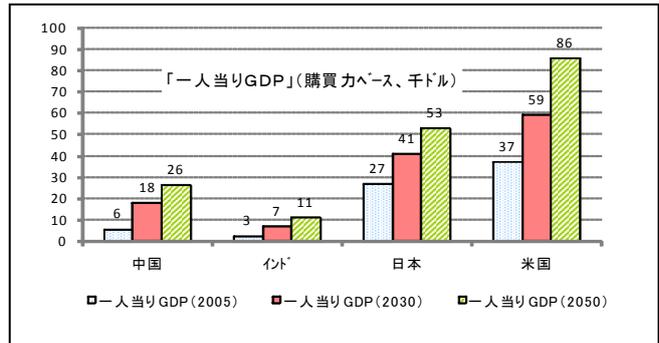
中国：2030年代には世界一の経済規模に。
 インド：長期成長力では中国を凌ぐ。
 日本：人口減少もあり、長期低迷傾向。
 米国：着実な成長を続ける。



(出所:日本経済研究センター)

中印共通点：3 一人当たり所得 (GDP) は低い

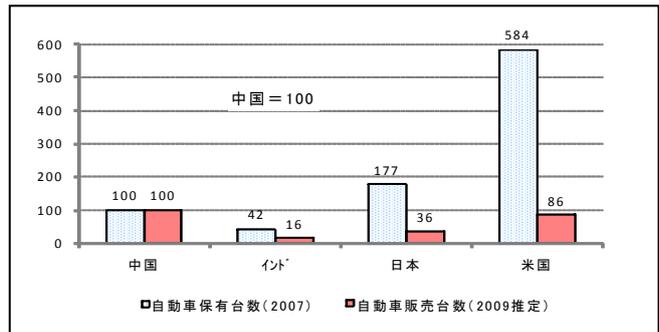
中国・インド：現在の水準は低いが、
 2050年には約4倍の所得に拡大。
 日本・米国：現在高水準にあるが、
 2050年は2倍程度の伸びに止まる。



(出所:日本経済研究センター)

自動車「保有」「販売」比較

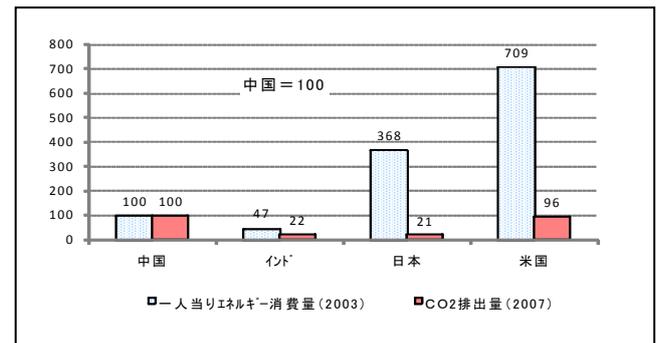
中国：保有台数では日米に劣後するが、販売台数では既に世界一。ブランド指向大。
 インド：低価格自動車中心に急成長中。
 日本・米国：「脱自動車」の方向。



(出所:保有:日本自動車工業会、販売:ユニオン投信推定)

エネルギー消費量・CO2排出量比較

中国：エネルギー消費量一人当たりでは日米に比べ少ないが、全体では世界2位。近々世界1位に。
 CO2排出量はすでに世界最大。
 インド：インド全体では日本を上回る消費量・排出量。
 日本：「環境」優等生。「CO2・25%削減」を目指す。
 米国：「自動車大国」もオバマ政権下で「環境」指向に。



(出所:消費量:世銀、排出量:グローバルカーボンプロジェクト)

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
 ◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

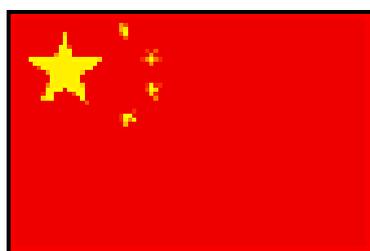
「中国とインド」比較：

- 政治** 中 国・・・共産党一党支配。経済危機下では威力？ 腐敗撲滅に腐心。
インド・・・有権者7億人。世界最大の民主主義国家。
- 言語** 中 国・・・漢語。公用語は北京語。
インド・・・多言語（約700）。イギリス統治長く、英語が準公用語（経済的メリット大）。
- 宗教** 中 国・・・宗教色薄い。
インド・・・ヒンズー教8割強。カースト制（差別）3000年の歴史。最近「脱カースト」の動き。
- 産業** 中 国・・・先進国向け加工品輸出で外貨世界一。危機を境に外需から内需へシフト中。
インド・・・内需強く、貿易赤字を資本輸入でカバー。「IT」サービス輸出が強み。
- 為替** 中 国・・・1994-2005年までドル連動制。「人民元安」政策で輸出促進。現在も当局管理下。
インド・・・1993年「変動相場制」導入。経済改革・対外開放進む。
- 人脈** 中 国・・・華僑約5500万人（人口比約4%）
インド・・・印僑約2000万人（人口比約2%）
- 識字** 中 国・・・識字率91%（2002年）。比較的高い。
インド・・・識字率65%（2002年）と低く、初等教育格差大だが、高等教育水準は高い。

共通課題・・・共に各7億人の農村人口。水不足・環境汚染・貧困・教育・産業振興など課題が多い。

「ユニオンファンドの中国・インド株投資」

- ・ユニオンファンドは「期待成長率の高い」新興国にコムジェストFを通じて積極投資しています。
- ・コムジェストFでは次のような背景などから中国株にはやや慎重姿勢です。
 - ・・・①情報開示に難、②外国人参入規制大＝国内投資家中心の市場（割高に買われやすい）、③国有系企業の流通株式が少ない（割高に買われやすい）、④今後変動相場に移行する過程での大幅調整リスク？ など。
- ・一方、インド株には積極的です・・・①外国人参入規制なし、②変動性相場を採用しており国際競争に揉まれている企業が多い、など。



◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ ユニオンファンドは、

①「株式」に投資する ②「グローバル」に投資する ③インデックスでなく「アクティブ」に投資する、
ファンドの中から実績を挙げてきた4つのファンドに投資しています(ファンド・オブ・ファンズ)。

■ 地域別「目標」投資配分としては、世界の株式市場シェアに比べて「日本」と「エマージング」のウエイトを高めとし、「欧米」を低めとしています。

「日本」 : 低成長市場だが身近な精通した市場

「エマージング」: 伸び盛りの高成長市場

「欧米」 : 成熟した低成長市場

■ 10月の世界株式市場は、久しぶりに上下にぶれました。

月初……9月期の主要国企業決算発表を間近に控え、慎重な見方から軟調に推移。

中旬以降…米国企業の決算好調(8割方の企業が予想以上)、「ドル・キャリートレード」の活発化(低金利のドル資金を借り入れ、新興国などの高金利通貨諸国に投資)などから世界中の株式・商品市場が上昇。

月末近辺…米国中心に「利上げ」時期を探る動きが散見され、「ドル・キャリートレード」の巻き戻しが発生(リスク資産売却・ドル買い戻し)。株式・商品市場は軟調に。

■ 10月の基準価額は、月初(10/6)に安値 12,243円を付けた後、下旬(10/27)に高値 13,196円を付けましたが、月末には 12,491円まで下落しました。

■ 長期投資の観点からは「まだ割安な水準にある」と判断し、「強気」スタンスを継続しています。

10月中の組入れ比率は 92~95%で推移し、平均 94%、月末は 92%となっています。

■ 今後の運用方針

● 今後の市況見通し

・米国「自動車」販売(政策補助:9月で終了)、「住宅」販売(政策補助:11月で期限切れ)の動向が懸念材料です。

10月分の景気指標が弱含みとなり、世界の株式市場が軟調に推移する可能性があります。

・しかし、世界的な大型財政支出は継続されています。

米国…オバマ政権財政出動 70兆円超のうち、約 20兆円が 2009年に執行予定。

⇒2010年以降に残りの 50兆円超が控えている(…経済刺激効果はまだ続く)。

中国…温家宝首相の景気刺激意向は強い(…現在の 50兆円超の財政投資でも足りないようなら、更に出動する可能性大)。

日本…鳩山政権も 2010年度は大型予算に。

・また、「消費伸び悩み」などで「物価」が超安定状態にあり、先進国の金融緩和が続く状況にあります。

・従って、多少の上下はあっても、引き続き「ジリ高」基調が維持されるものと考えます。

● 目標投資比率

長期投資の観点からは、まだ「投資妙味のあるタイミング」と認識しています。

しかし、短期的には上下にぶれる展開が予想されることから「目標投資比率」を引き続き「85~100%」とし、柔軟に対応していきます。

● 地域別目標投資比率

現在の「地域別目標投資比率」を維持します。

…日本:18%、欧米:42%、エマージング:40%

● ファンド選定

当面、現在の4つのファンドに投資していきます。

● ファンド別目標組入比率

欧米 42%のうち、「キャピタルF」を約 25%から約 22%へ引き下げ、「ハリスF」を約 17%から約 20%へ引き上げます。上下にぶれる展開では割安株投資の「ハリスF」に安心感があると考えています。

ただし、市況動向を観ながら3ヵ月程度のなかで実施することとし、市況によっては据え置くこともあります。

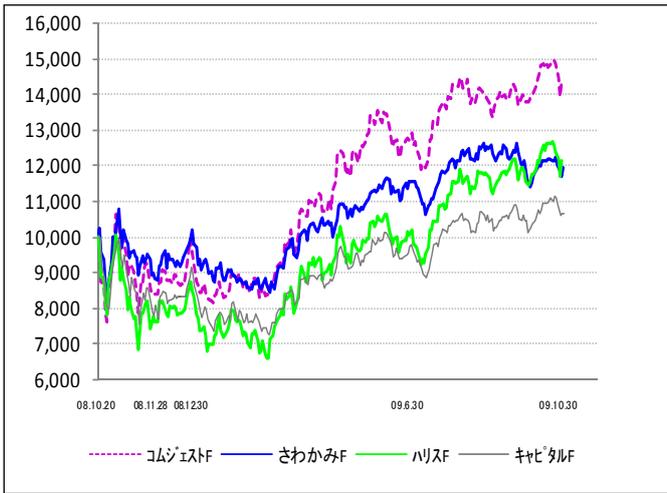
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

「ユニオンファンド概況」補足コメント

■ 図1 組入ファンドの基準価額推移(2008. 10. 20=10,000)



>> 図1 基準価額推移

3月以降4ファンドとも多少の上下のぶれを伴いながらも上昇中。10月1ヶ月騰落率は次の通り。
 …「コムジェストF:0.2%」、「さわかみF:▲2.8%」、
 「ハリスF:▲2.0%」、「キャピタルF:0.5%」。

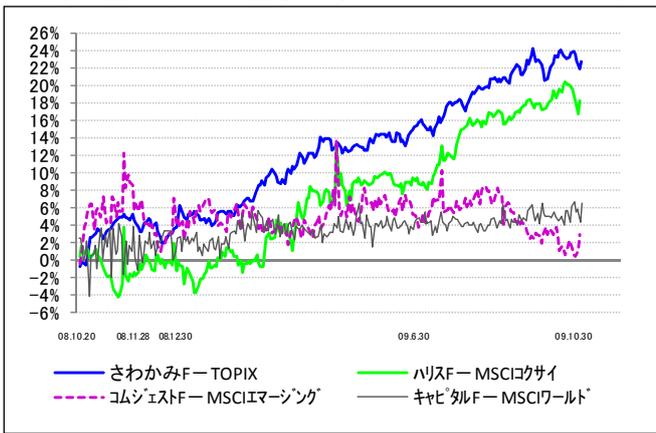
>> 図2 相対パフォーマンス

4ファンドともインデックスを上回るパフォーマンス。
 「さわかみF」…輸出関連株の上昇などからインデックスを設定来で約23%凌駕。
 「ハリスF」…金融株・割安株の反発から約17%凌駕。
 「キャピタルF」…安定的に約6%凌駕。
 「コムジェストF」…銘柄選択効果などから設定来で約1%凌駕。しかし最近2ヶ月で約7%劣後。安定株中心のコムジェストFの基準価額は概ね横ばいで推移しているが、資源関連株などを中心とするエマージング株全体が今回急上昇したため。

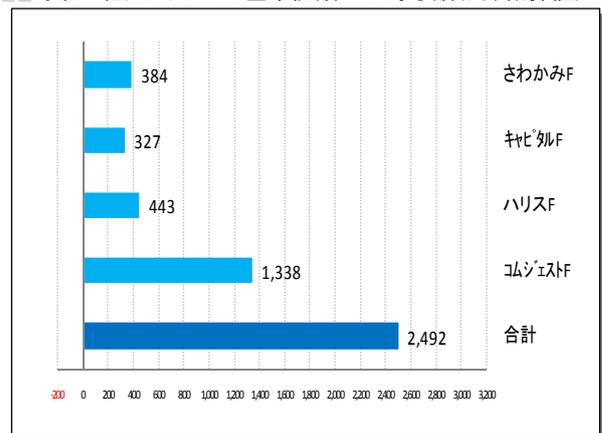
>> 図3 寄与額

10月末の基準価額が12,492円となっているため、2,492円の評価益に。その内訳を4ファンドに分解すると第3図の通り。4ファンドともプラス寄与。なかでも「コムジェストF」の貢献が大きい。

■ 図2 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)



■ 図3 組入ファンドの基準価額への寄与額(円、概算値)



>> 図4 時価総額シェア・目標投資比率

時価総額シェア…「エマージング」:08年10月を底に上昇基調。「欧米」:一貫して低下基調。「日本」:やや低下。

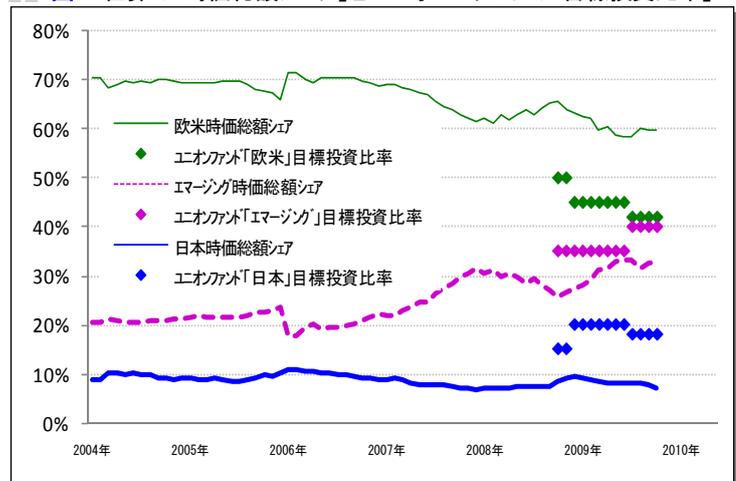
「地域別目標投資比率」

日本 :18%(シェア比+11%)
 欧米 :42%(シェア比▲18%)
 エマージング:40%(シェア比+7%)



運用部長 (ファンドマネージャー)
 坂爪 久男

■ 図4 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



(出所)「時価総額シェア」:ユニオン投信株式会社調べ

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

組入れ4ファンドの状況

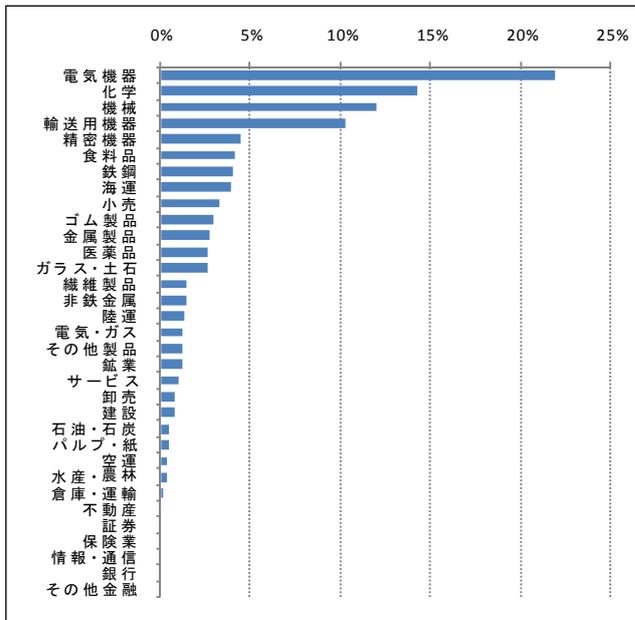
さわかみF (さわかみファンド)

株式組入上位10銘柄等

2009年10月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	商船三井	3.7%	日本	海運	タンカー・LNG 船で世界一
2	パナソニック	3.3%	日本	電気機器	総合家電首位
3	コマツ	3.1%	日本	機械	建設機械でキャタピラーと双壁
4	ブリヂストン	2.8%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
5	花王	2.8%	日本	化学	トイレット紙首位
6	SUMCO	2.4%	日本	金属製品	半導体用シリコンウエハー大手
7	トヨタ自動車	2.2%	日本	輸送用機器	自動車世界トップ
8	信越化学	2.0%	日本	化学	塩ビ・シリコンウエハー世界大手
9	武田薬品	2.0%	日本	医薬品	世界的医薬品大手
10	リコー	1.9%	日本	電気機器	事務機大手
上位10銘柄		26.1%			
その他171銘柄		70.3%			
キャッシュ		3.6%			

業種別構成比



業種：東証33業種

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆組入銘柄数は約180。最近1年半で約130銘柄を圧縮。
業種のメリハリを効かせることで個性あるポートフォリオを作り上げている。
- ◆具体的には、以下の特徴がある。
 - (1) 電気機器、化学、機械、輸送用機器、精密、鉄鋼など「ものづくり」企業の比率大。
 - (2) 食料品、小売などの「生活関連」企業の比率大。
 - (3) 金融、通信、不動産、倉庫運輸などの「内需型」企業の比率小。
- ◆中小型銘柄から大型・国際優良株へのシフトを進めている。
環境・太陽光関連、中国関連などが組入上位に。割安になった電気機器の組入比率を引き上げ。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ キャピタルF (CIF グローバル・エクイティ・ファンドクラスA)

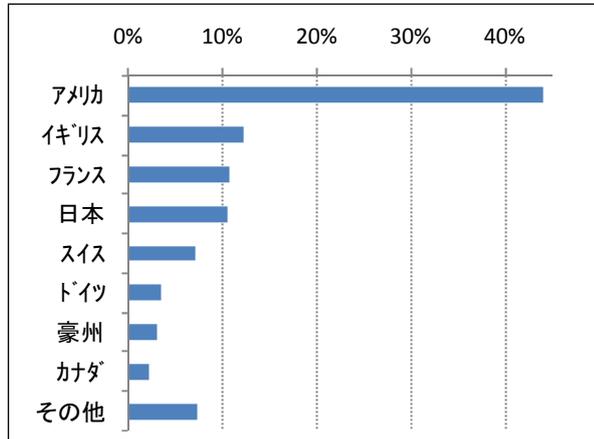
■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

2009 年 9 月末現在

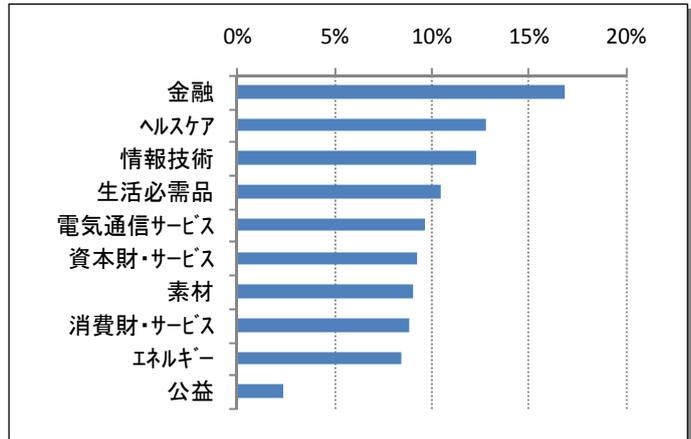
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	Royal Dutch Shell	2.4%	オランダ	エネルギー	石油ガス
2	Roche	2.3%	スイス	ヘルスケア	医薬品大手
3	PepsiCo	2.2%	アメリカ	生活必需品	飲料大手
4	Bouygues	2.0%	フランス	電気通信サービス	通信大手
5	Goldman Sachs	1.9%	アメリカ	金融	世界有数の投資銀行
6	HSBC	1.8%	イギリス	金融	世界有数の金融グループ
7	Celgene	1.7%	アメリカ	ヘルスケア	急成長バイオ
8	Target	1.5%	アメリカ	消費財・サービス	小売チェーン大手
9	Google	1.4%	アメリカ	消費財・サービス	世界最大のネット検索
10	Merck	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品大手
上位 10 銘柄		18.6%			
その他		78.3%			
キャッシュ		3.1%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 日本を含む先進国に幅広く投資。
- ◆ インデックスに対し大きな偏りをとらず、長期間の安定的な超過収益を狙うファンド。
- ◆ 最悪期を脱した金融株の比率を引き上げてきている (08 年前半: 約 22% → 09 年 2 月ボトム: 11% → 現在 17%)。
- ◆ 最近数カ月はポートフォリオの大きな変更なし。

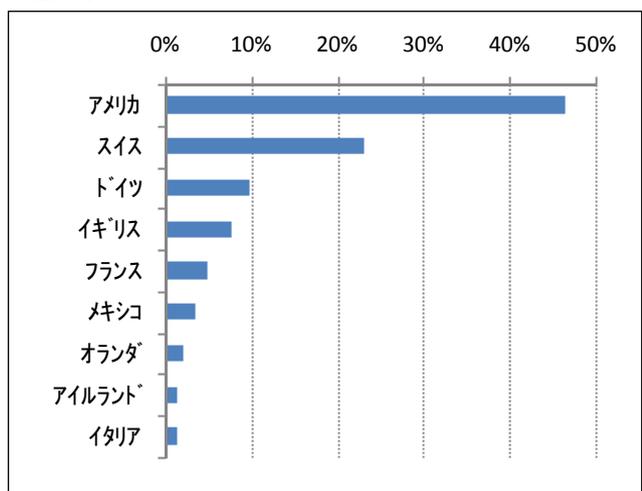
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
 ◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 グループ 2009 年 9 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	INTEL	6.3%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー
2	HEWLETT PACKARD	4.2%	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	コンピューター関連大手
3	CATERPILLAR	4.2%	アメリカ	資本財	建設機械世界トップ
4	FINANCIERE RICHEMON	4.1%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・ラグジュアリー
5	FRANKLIN RESOURCES	4.1%	アメリカ	各種金融	資産運用(フランクリン テンプルトン)
6	JULIUS BAER	3.9%	スイス	各種金融	プライベートバンク
7	CARNIVAL	3.6%	アメリカ	消費財・サービス	クルーズ客船
8	UBS	3.4%	スイス	各種金融	金融大手
9	ALLIANZ	3.4%	ドイツ	保険	総合保険大手
10	BANK OF NEW YORK MELLON	3.3%	アメリカ	各種金融	金融大手
上位 10 銘柄		40.5%			
その他 30 銘柄		52.0%			
キャッシュ		7.5%			

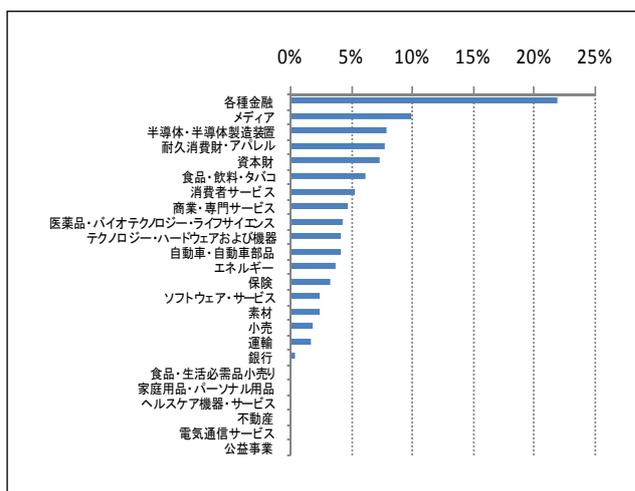
■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)

※2009 年 10 月末現在



業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 割安な 40 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。日本を除くグローバルに投資。
- ◆ 2007 年 7 月のファンド設定以来、「金融」を一貫して 3 割程度組入れ。
...今年 2 月までは苦戦したが、3 月以降の「金融」株急回復でパフォーマンスに大きく貢献。
10 月は株価回復で割安感が薄れてきたことなどから「金融」比率をやや低めに。
- ◆ 割安な「メディア」「食品・飲料・タバコ」に注力中。

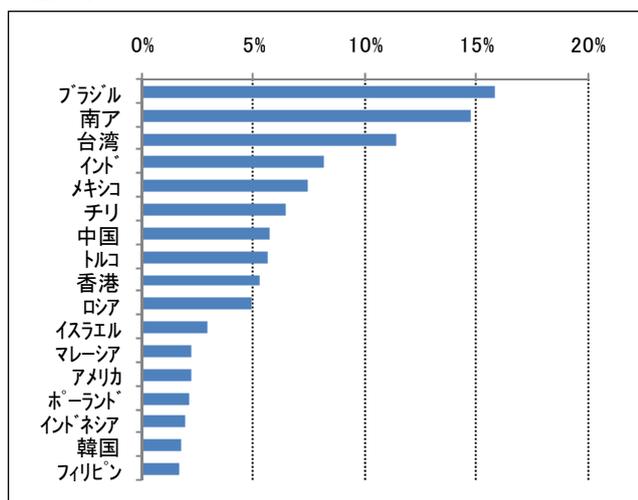
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2009 年 10 月末現在

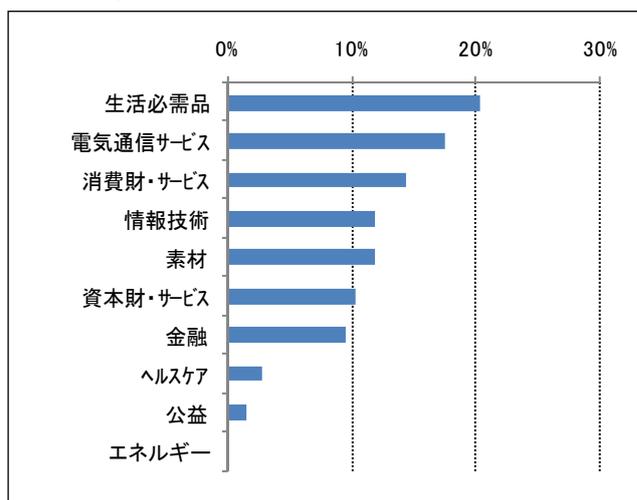
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	4.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2	MTN	3.5%	南ア	電気通信サービス	携帯電話
3	MOBILE TELESYSTEMS	3.4%	ロシア	電気通信サービス	携帯電話
4	GRUPO TELEV	3.2%	メキシコ	消費財・サービス	メディア
5	COCA-COLA ICECEK URETIM	3.1%	トルコ	生活必需品	ボトル
6	GOLD FIELDS	3.1%	南ア	素材	金鉱開発
7	TIM PARTICIPACOES	3.1%	ブラジル	電気通信サービス	携帯電話
8	ANGLOGOLD ASHANTI	3.1%	南ア	素材	金鉱開発
9	CHINA LIFE INSURANCE	2.9%	中国	金融	生命保険
10	NATURA COSMETICOS	2.9%	ブラジル	生活必需品	化粧品
	上位 10 銘柄	28.3%			
	その他 30 銘柄	69.6%			
	キャッシュ	2.1%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種：MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター
構成比：現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆新興国の割安な 50 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。
- ◆財務体質健全、積極的な情報開示、株価割安な企業に選別投資。
- ◆高成長新興国中心のポートフォリオ。
- ◆衣食住・インフラ等生活関連銘柄のウエイトが高い。
- ◆新興国市場の高値警戒感から安定成長ができる情報技術・通信関連などにシフト中。
- ◆国別ではブラジルが南アフリカに代わり 1 位に。業種ではエネルギーがゼロに。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

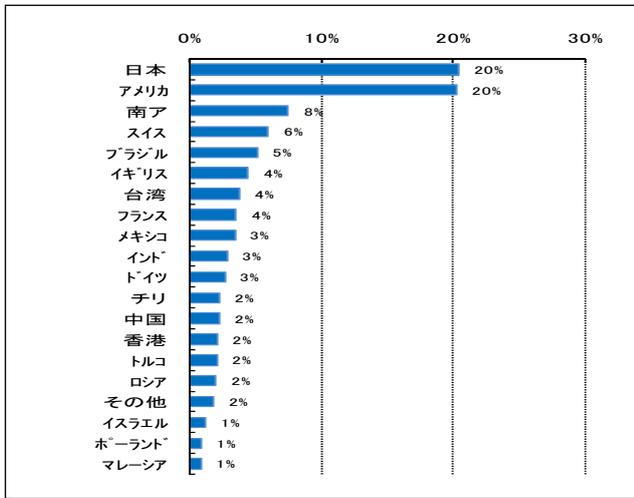
ユニオンファンド(組入4ファンド トータル)の状況

■株式組入上位 20 銘柄等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2009 年 9 月末現在

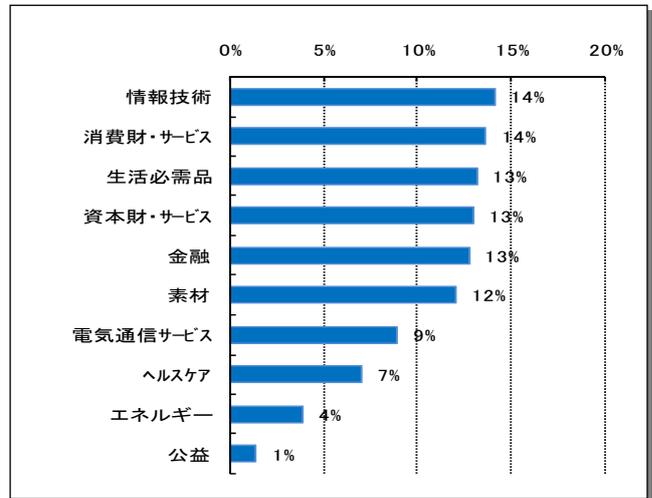
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等	主要組入F
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	2.0%	台湾	情報技術	半導体メーカー	コムジェスト
2	MTN	1.6%	南ア	電気通信サービス	携帯電話	コムジェスト
3	MOBILE TELESYSTEMS	1.4%	ロシア	電気通信サービス	携帯電話	コムジェスト
4	GOLD FIELDS	1.2%	南ア	素材	金鉱開発	コムジェスト
5	ANGLOGOLD ASHANTI	1.2%	南ア	素材	金鉱開発	コムジェスト
6	AMDOCS	1.2%	イスラエル	情報技術	ソフトウェア開発・サービス	コムジェスト
7	GRUPO TELEV	1.2%	メキシコ	消費財・サービス	メディア	コムジェスト
8	INTEL	1.1%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー	ハリスF
9	TIM PARTICIPACOES	1.1%	ブラジル	電気通信サービス	携帯電話	コムジェスト
10	COCA-COLA ICECEK URETIM	1.1%	トルコ	生活必需品	ボトル	コムジェスト
11	CHINA LIFE INSURANCE	1.1%	中国	金融	生命保険	コムジェスト
12	HEWLETT PACKARD	0.8%	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	コンピューター関連大手	ハリスF
13	CATERPILLAR	0.8%	アメリカ	資本財	建設機械世界トップ	ハリスF
14	FINANCIERE RICHEMON	0.7%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・ラグジュアリー	ハリスF
15	FRANKLIN RESOURCES	0.7%	アメリカ	各種金融	資産運用(フランクリン テンプルトン)	ハリスF
16	JULIUS BAER	0.7%	スイス	各種金融	プライベートバンク	ハリスF
17	CARNIVAL	0.7%	アメリカ	消費財・サービス	クルーズ客船	ハリスF
18	商船三井	0.6%	日本	資本財・サービス	タンカー・LNG 船で世界一	さわかみF
19	UBS	0.6%	スイス	各種金融	金融大手	ハリスF
20	ALLIANZ	0.6%	ドイツ	保険	総合保険大手	ハリスF
	上位 20 銘柄	20.5%	(注)各組入F開示資料に基づくランキング			
	その他銘柄	73.0%				
	キャッシュ	6.5%				

■国別構成比 (上位 20 カ国)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■業種別構成比



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

>> コメント

- ☆組入銘柄数: 約 500、投資国数: 約 30 カ国。
- ☆組入上位 20 銘柄明細: 40 銘柄程度に絞り込んでいる「コムジェストF」「ハリスF」組入銘柄が上位に。
- ☆国別構成比: 日本・アメリカが約 2 割で 1・2 位。
新興国では南ア・ブラジル・メキシコ・インドなどが上位に。中国は割高感などから低位。
- ☆業種別構成比: 情報技術から素材まで 6 業種が 14~12%の比率。全体的に好バランス。
最近、各ファンドの銘柄入れ替が少なくなってきたことからユニオンファンド全体も安定した動きに。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

「ユニオンファンド」第1期決算期を迎えて

ユニオン投信株式会社 代表取締役
田子 慶紀



お陰様で「ユニオンファンド」は本年9月30日を持ちまして「第1期決算」を迎えました。(一年間の運用状況につきましては、今月中旬に「運用報告書」を受益者の皆様へご送付いたしますのでご参照下さい。)

「ユニオンファンド」は昨年10月、「米国住宅バブル崩壊」「金融危機」「株価大暴落」「投資家総悲観」の最中に誕生致しました。

「資産を殖やす」目的の投資を実践する上では、市場の下落局面など“安い所を買う”ことがとても重要と考え、その意味ではまさに絶好のスタートが切れたと考えています。

しかし、個人家計における株式や投資信託などのリスク商品は、金融危機の煽りを受けて大きく毀損し、新たな資産運用に踏み出すような状態ではなかったと思います。

そのような環境にも関わらず、「ユニオンファンド」による資産運用を開始していただきました受益者の皆様には誠にありがたく、深く御礼申し上げます。

弊社といたしましては皆様のご支援が誠に心強く、お陰様で厳しい環境の中でも辛い場面を乗り切ることが出来ました。

“これから先は一体どうなるのだろうか?”という論議の中で、「景気は回復する」という人もいれば、「もう一度の下げ局面(二番底)がある」という人もいます。人それぞれの意見を真剣に聞いていると“一体何が本当なのか”分からなくなってしまいますが、「資産形成」への道には“山あり谷あり”です。確実なことは“楽な道”や“近道”は決して無いということです。皆様が弊社に託されているおカネは、“資産運用”という「時間軸」に乗って“世界経済の成長”を享受するためにこの地球上で働いています。

普通の私たちの生活は、決して“焦らず”“慌てず”、もう一つの「時間軸」で自分自身のため、ご家族や周りの人たちのために『時間』を有効に使って参りましょう。

「ユニオンファンド」の運用は二期目に突入しています。弊社は皆様が「心豊かな生活」を送っていただけのように、これからも全社員一丸となって邁進して参ります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

『モア&モア』

もっと学校を多く、もっと牢屋を少なく
もっと知識を多く、もっと悪徳を少なく
もっと余暇を多く、もっと強欲を少なく

もっと本を多く、もっと兵器を少なく
もっと安定した雇用を多く、もっと犯罪を少なく
もっと正義を多く、もっと復讐を少なく

上記の『モア&モア』はアメリカの AFL(日本でいうと日本労働組合総連合会)の初代会長サミュエル・ゴンバース氏が掲げた労働運動の理念・志です。

私はこの労働運動の原点を忘れず、『モア&モア』に向かって行動し続けます。「ユニオンファンド」はお客様と一緒に『モア&モア』の実現に近づけていく大きな手段の一つと考えています。

清水 学

「そんなことは無理だ!」「できるはずがない!」「失敗したらどうするんだ?」

スタート前にたくさんの“できない理由”を投げかけられながら、ユニオンファンドの企画は始まりました。

そんな中、“働く者や社会に善いこと”で“自分たちがやれること”は、「まずやってみる(やってみなければ前には進まない)」との思いを持って、労働組合としての実施承認、ユニオン投信設立、ユニオンファンドの運用開始を実現し、そのユニオンファンドが運用開始から1年を迎えることができました。

この一步は社会にとってはほんの小さな変化かもしれませんが、でも、微力は無力ではありません。

この1年でたくさんのお客様がユニオンファンドで新たな一步を踏み出してくださいました。さらに多くのお客様と一緒に今後も一步一步着実に前進しながら、皆様と一緒に微力を大きな波にしていきたいと思えます。

赤津 正

『一步一步』

ユニオン投信の屋上から見える北アルプスの山々が再び新雪に輝き、ユニオンファンドも一年を迎えることができました。この間、国内外の経済の荒波に揉まれながらも着実に仲間を増やすことが出来たのも、ファンドの主旨にご賛同、ご支援いただいた皆さまのおかげと感謝申し上げます。これからもスタッフ一同、皆さまの夢の実現に向けて一步一步着実に歩んでまいります。

辻 正明

『天の時、地の利、人の和』

・物事を成功させる3条件として「天の時、地の利、人の和」という言葉があります(中国、孟子)。ユニオンファンドはまさにこの条件の中でスタートし、1周年を迎えました。

① 「天の時」・・・「100年に一度」のチャンス射止めました。

② 「地の利」・・・「信州松本」を拠点とすることで「情報ハンディ」は全くありません。北アルプス・槍ヶ岳を望み、上高地を擁する風光明媚な景観、大地の恵み(おいしいお酒・ワイン・果実・肉・・・、新鮮な空気)のなかでの生活はとても快適です。

③ 「人の和」・・・メンバー8人のチームワークはどの組織にも負けません。

・世の中の「厳しさ」はまだまだ続きますが、ユニオンファンドは「明るさ」「豊かさ」を求め、お客様と共に邁進していきたいと考えています。

坂爪 久男

昨年秋、暴風雨のような市況環境で芽生えたユニオンファンドですが、この一年お陰様で皆さまのご支援を得て根を広げ、しっかりと”生長”することができました。

樹木は、春から夏にかけては活発に、秋から冬はゆっくりとですがきめ細かく、細胞を生長させて年輪を形成していきます。干ばつなどの厳しい自然環境に晒されると年輪は歪んだりしますが、それでもたくましく堅牢な幹を形成します。

ユニオンファンドという“樹”の“生長”の糧は、世界経済の成長です。これからも好・不況の波は避けられないでしょう。また、資源・エネルギー、食糧、環境等々の諸テーマは人類の英知で乗り切ることでしょう。こうした成長力を信じて世界経済を鳥瞰し、長期的かつグローバルな視点で目配りし、この“樹”を育てようということが私たちの目標です。

鈴木 重弘

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

私は何も用事がない土日には温泉巡りをしています。ゆっくりと風呂に浸かっていると、ゆったりとした時間の中で自然のすばらしさを感じます。特に遠方に見える山々、富士山は言うまでもなく八ヶ岳、浅間山、北アルプス、北岳などの姿に神々しさを覚えます。大地の恵みを受けながらの入浴はこのうえもなく贅沢であり、幸せを感じます。

また、温泉で知り合った人々や山男との会話も楽しく、気持ちも清々しく洗われます。

さて、ユニオン投信も1周年を迎えた今、数々のお客様とのお取り引きを通じて信頼ある地位を築きつつあると実感するこの頃です。

確かに景気は悪く政治の激変もあり、投信に対しても厳しい状況は依然続いていることに変わりはありません。

しかし、そんな中でも着実に将来を見越し、積み立て式でも未来に向けて投信をする若者も多くなってきたように思えます。山々のように動じず、清々しい気持ちでこれからも邁進したいと思っていますところです。

唐澤 洋之

業務管理部の倉田と申します。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

最近、我が家に第一子が誕生しました。初めての子育てに悪戦苦闘しつつも楽しみな子どもの成長と共に、子どものためのお金の成長を見守っていくのも楽しみのひとつとなりました。

子どもが将来、両親から本人名義の「資産運用口座」を引き継ぐことは、資産形成の大切さを教育する上でも有益ではないかと思えます。毎月コツコツ確かな投資、子どもが社会に出るまで約20年。最初は小さくても積み重ねていくことで、とんでもないプレゼントになるのでは！？と楽しみにしています。

もっともっとたくさんのご家庭から、お子さんの分も安心して資産を託していただける投資信託を目指し、日々努力してまいります。

倉田 健一郎

平成21年11月10日記

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。 －

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズ的方式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

『ユニオンファンド』の手数料

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手数料等および税金」をご覧ください。 －

【申 込 手 数 料】 … お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

【換 金 手 数 料】 … ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

【信 託 報 酬】 … 総資産総額に年0.84%（税抜き 年0.8%）の率を乗じて得た額です。

毎日、当ファンドの投資信託財産より控除されます。

[実質的な信託報酬※ 信託財産の純資産総額に対して年1.9%±0.3%（概算）]

※『ユニオンファンド』は他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。

【信託財産留保金】 … 信託財産留保金はありません。

【その他の費用】 … 『ユニオンファンド』に組み入れるファンドを売買する際に発生する売買手数料およびこれにかかる消費税に相当する額は投資信託財産より控除されます。

※実際の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

◆ 業務管理部よりお知らせ ◆

◆ 平成 22 年からの「特定口座(源泉徴収あり)」の仕組みについて ◆

ここでは概要をご説明いたします。12 月中旬までに詳しい資料をご送付いたします。

これまででは上場株式等の配当金や分配金(配当所得)と解約による損失(譲渡損失)の損益通算はできませんでしたが、平成 20 年度税制改正より、平成 21 年からは確定申告をすることで、損益通算が可能となっています。さらに平成 22 年 1 月より、納税者の利便性を考慮し「特定口座(源泉徴収あり)」内において配当所得と譲渡損失の損益通算ができる仕組みが導入されることとなりました。

◀「特定口座(源泉徴収あり)」をご利用のお客様▶

ユニオンファンドを「特定口座(源泉徴収あり)」でご利用のお客様は、平成 22 年より、決算時にファンドの分配(配当所得)が行われた場合*に解約による損失(譲渡損失)が生じておりましたら、確定申告をしなくても特定口座内で損益通算ができるようになり、超過徴収している税金分があれば翌年 1 月に還付されることとなります。

なお、今回の仕組みをご利用いただくためには、「源泉徴収口座内配当等受入開始届出書」をご提出いただくこととなりますが、移行期の特例により、平成 22 年 1 月 1 日時点において「特定口座(源泉徴収あり)」をご開設されているお客様におかれましては、特段の届け出なしでも「源泉徴収口座内配当等受入開始届出書」を提出されたものとみなされることになっております。(同届出書の提出は不要です。)

◀「特定口座(源泉徴収なし)」をご利用のお客様▶

確定申告での損益通算が可能です。特定口座内で損益通算をご希望される場合は「特定口座(源泉徴収あり)」へ変更してください。(変更手続きはその年の最初の解約が行われる前までとなります。)

※ ユニオンファンドの分配金につきましては、原則として毎決算時に行いますが、基準価額水準、市場動向等を勘案した結果、分配を行わないことがあります。また、当ファンドは分配金再投資専用ですので、分配金は税金が引かれた後、自動的に再投資されます。

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までご連絡ください。

◆ 定期定額購入について ◆

毎月 5 日(休日の場合は翌営業日)にご指定いただきました金融機関口座より自動引落としされ、8 営業日後の基準価額にて購入いたします。なお、“新規申込み”“各種変更”には、締切日がございます。締切日を過ぎて届出書類が弊社へ到着した場合には、ご希望される月からは反映されませんのでご注意ください。

定期定額購入スケジュール

引落開始月	新規申込み 引落口座変更 締切日	金額変更 引落中止 締切日	ご指定の金融機関 口座からの引落日	ファンドご購入日 (約定日)
12 月	締切りました	11 月 19 日 (木)	12 月 7 日 (月)	12 月 17 日 (木)
平成 22 年 1 月	12 月 2 日 (水)	12 月 16 日 (水)	1 月 5 日 (火)	1 月 18 日 (月)
2 月	12 月 30 日 (水)	1 月 21 日 (木)	2 月 5 日 (金)	2 月 18 日 (木)

ご不明な点などがありましたら、弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までご連絡ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。